

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り			5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスクの見積り			7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			頻度	可能性	リスク		頻度	可能性	リスク	対策 実施日	次年度 検討事項	
重機作業 (建設廃棄物)	重機でがれきをホッパーに投入している時、確認不十分により、誤って重機ごとホッパー内に転落し、下敷きになる。	作業床の端の囲い、 取り外し可能なH=1m以上の柵の設置	2	2	10 (14)	・誘導者を設置 ・車止めを設置	1	1	10 (12)		バケットクレーン作業への設備改造。	

中間処理(破砕・分解)

破砕 (他固形物)	投入コンベア上部に破砕物が詰まったので、取り出すとして足場に登り、無理な姿勢で破砕物を引っ張ったので反動で作業者が転落し、頭部を強打する。	作業前に指差し呼称で確認	1	4	10 (15)	転落防止柵を設置	1	1	3 (5)			転倒するリスクは残る
破砕 (他固形物)	二軸破砕機に破砕物が詰まったので、装置を作動させたまま取り出そうとして、作業者が全身を巻き込まれる。	作業前に指差し呼称で確認	1	4	10 (15)	・初めに反転装置を利用し、破砕物を取り出す ・ダメな場合、装置を停止して取り出す	1	1	10 (12)		自動停止装置を設置する。	標準を守らず事故が起こる可能性は残る。
破砕 (他固形物)	破砕機の投入口に陸軍物が詰まったため、棒で破砕物を押し込んだ時、破砕が一気に進行し、破片が飛び出し、作業者の頭に当たる。	作業前に指差し呼称で確認	1	2	6 (9)	装置を停止して作業	1	1	6 (8)		停止後のインタロックを検討	標準を守らず事故が起こる可能性は残る。

中間処理(圧縮プレス)

圧縮プレス (他固形物)	廃棄物を圧縮する時、可燃ガス容器が混入しており、蓄積した残留ガスが装置内で爆発し、作業者が爆風で飛ばされ、全身を強打する。	作業前に指差し呼称で確認	1	2	10 (13)	排出者に混入禁止を徹底する。 事前展開検査を行う	1	1	6 (8)			混入する個数が減り、爆発の威力は減るが、見逃すリスクは残る。
-----------------	---	--------------	---	---	------------	-----------------------------	---	---	----------	--	--	--------------------------------

中間処理(焼却・溶融)

焼却 (建設廃棄物)	ストーカの油圧配管の磨耗による油圧漏れで、高圧の作動油が作業員に飛散し、腕に重傷を負う。	作業前の油圧計の確認	2	2	3 (7)	油圧配管の定期点検	1	1	3 (5)		保護着等の着用の徹底	
焼却 (医療廃棄物)	感染性廃棄物の投入をベルトコンベアで行なっている時、感染性廃棄物が落ち、付近の作業員の腕に当たり、腕を骨折する。	目視	1	2	6 (9)	落下防止の安全柵を設ける	1	2	1 (4)			
溶融 (他固形物)	ピニールが作業場に散乱しており、作業者がそれに乗り、足を滑らせ転倒し、腰を打撲する。	作業前に指差し呼称で確認	2	2	3 (7)	標準を改定し、定期的(2日毎)に足元の清掃を行う	1	1	3 (5)			頻度は減るがピニールの飛散がある限り、転倒の可能性は残る

中間処理(中和)

中和 (廃液)	廃液移送ポンプを点検しようと稼働中のポンプに触れた時、回転部に手が巻き込まれ、骨折する。	点検時は電源を切って確認	2	2	6 (10)	・ポンプ部分にガードを取り付ける ・電源のON、OFFを指差し呼称で再確認する	1	1	6 (8)			
中和 (廃液)	廃液を中和する中間処理施設にて、状況を確認するために中和タンクを開けた時、局所排気装置が故障して排ガスが漏れていたため、作業者が中毒になる。	点検チェックリストによる設備の点検	2	4	6 (12)	防護マスクの着用を義務化	1	2	6 (9)			